

みなさん、こんにちは! 福井市議会議員の浦上逸人です。  
議員としての活動は早いもので、8ヶ月が経過しました。  
浦上はやと議会報告Vol.1では、6月から12月の期間に開催された定例会や  
予算特別委員会などの議会活動についてご報告します。

Uragami Hayato  
NEWS  
Vol.1



# 浦上はやと 日々の活動

地元の湊地区では、「毎朝の見守り活動」、「祭り、資源回収、夜回り駅伝などの地域行事」、「各種会議や打合せ」などに参加し、地域の課題の把握とその解決に取り組んでいます。

また、誰もが「幸せ」を実感できる住みやすい福井市となるよう、事業者や農業者の方々の課題やご意見などをヒヤリングしに伺い、行政の課題の指摘や政策の提言などの議会活動に繋がっています。

「前向きに、丁寧に、謙虚に」出来ることからひとつひとつ着実に行動して参ります。

引き続き皆様の声をお聞かせください。

日々の活動は、フェイスブックなどのSNSをご覧ください!



▲湊地区市政報告会



▲定例会(本会議)



議会にて  
指摘や提言を  
おこないます

▲予算特別委員会



▲夜回り駅伝(湊三区内)



▲ラジオ体操(湊二区内)



▲特別委員会(北陸新幹線開業効果最大化対策特別委員会)



▲北陸新幹線 福井駅入線セレモニー



▲地域行事(湊一、二区内)



▲資源回収(湊四区内)

## 市議会のしくみ

定例会が定期的に年4回(3月、6月、9月、12月)開かれ、市政の方針、予算などの重要な事項について審議します。

### 1. 定例会

#### ① 本会議

全議員で構成する会議。市長に質問を行ったり、議会に提出された議案などを決定します

#### ② 常任委員会

「経済企業委員会」に所属

数多くの議案の審議を本会議で一度に全て行うことは困難なので、専門的かつ詳細に審査します

### 2. 特別委員会

「北陸新幹線開業効果最大化対策特別委員会」に所属

特定の件について審査・調査

## 市議会のスケジュール

4月	市議会の期間は各定例会・臨時会の最初の本会議で決められます
5月	
6月	6月定例会 (本会議 常任委員会) 北陸新幹線開業効果最大化対策特別委員会
7月	
8月	
9月	9月定例会 (本会議 常任委員会 予算特別委員会)
10月	
11月	
12月	12月定例会 (本会議 常任委員会)
1月	
2月	
3月	3月定例会 (本会議 常任委員会 予算特別委員会)

#### 本会議

- 市長が市の仕事の計画やお金の使い方などを提案する
- 提案の内容を説明する など

全員で話し合う場

#### 常任委員会

- 議案について、さらにくわしく調べたり話し合ったりする

たくさんの仕事を種類ごとにわけて少ない人数で、より専門的に話し合う場

#### 本会議

- 委員会で話し合った内容を議員全員に報告
- 賛成または反対の立場で意見をのべる
- 賛成か反対かを採決する

全員で話し合う場

## 浦上はやと プロフィール

- 1975年生まれ 福井市花月在住
- 京都府立大学大学院 農学研究科 修了(農学修士)
- キリンビール株式会社
- 福井市役所 農政企画課→マーケット戦略室(現:商工振興課)→東京事務所
- 早稲田大学大学院 政治学研究科 修了(公共経営修士(専門職))  
※ 地方行政実務学会に所属し、行政学・地方自治について実践的に研究
- 家族/妻と娘2人
- 趣味/マラソン(フルマラソンで3時間切り「サブ3」を3度達成) スポーツ観戦、読書、DIY



公式ホームページ



Facebook



Instagram



X(旧Twitter)

## 浦上はやと事務所

〒910-0022 福井市花月5-1-42  
090-9447-2951  
info@uragamihayato.com



次面には浦上はやとが市議会で質問・提案した内容を掲載しています▼



## 令和5年 6月定例会



**① 地域コミュニティへの取組について**  
**問題意識** 公共サービスの維持や地域社会の課題の解決のため、自治体と地域コミュニティはより一層連携していかねばなりません。  
**〈福井市の自治会加入率：73%（湊地区：53%）〉**

**(1) 自治会加入の推進**  
**Q: マンションなどの住民への自治会加入の取組の現状と方針は?**  
 A: (総務部長) 不動産会社との連携などを実施している。マンションなどの加入促進に繋がる新たな取組についても検討していく。

**(2) 市有施設の利用促進**  
**Q: 地域コミュニティ活動を実施するための活動場所として、[提案] 公民館以外の市有施設を積極的に貸し出して欲しい。**  
 A: (総務部長) 利用可能な施設の一覧を公民館に情報提供していく。

**(3) 地域担当職員制度の運用**  
**Q: この制度はどのような課題があり、今後どのように運用していくのか。**  
 A: (総務部長) 活動に地域差があることや、住んでいる地区ではない職員を選任している事などの課題がある。今後も制度の運用を見直しながら、積極的に地域に参画する職員を育て、地域の活性化に繋げていきたい。

**② 市職員の働き方改革について**  
**問題意識** 本市の業務量は継続的に増加しています。住民に対するサービスの質の向上を図るためにも、様々な視点で市の業務の働き方改革を進めていく必要があります。

**(1) ペーパーレス化の推進**  
**Q: 庁内のペーパーレス化に向けた取組について、現状と今後の方針は?**  
 A: (都市戦略部長) 所属ごとの印刷枚数の見える化、電子決裁の拡大、会議室のWi-Fi環境の整備、ペーパーレス会議の拡大などに取り組んでいる。ペーパーレス化や、業務効率化に取り組んでいく。

議会では、市民の方々から伺ってきた話を基本とし、全国の自治体の政策を調査研究した上で、『市民目線に立ち実現して欲しい事』や『中長期的に取り組んでもらいたいこと』などを質問・提案してまいります。



**(2) 総労働時間の削減**  
**Q: 長時間労働の削減に向けた対策について?**  
 A: (総務部長) オンライン会議やテレワーク勤務、デジタル技術を活用した様々な取組を一層推進していき、更なる時間外労働の削減に取り組んでいく。

**(3) 人材育成の推進**  
**Q: 若手職員の人材育成や職員の意欲向上に向けた現状と今後の取組は?**  
 A: (総務部長) 「福井市人材育成基本方針」を策定し、若手職員の人材育成、意欲向上に重きをおきながら取り組みをすすめている。「チャレンジ予算」「幹部職員との座談会」「提案型勉強会」など若手職員育成の取り組みを一層すすめていき、人材育成及び意欲向上に繋げていく。

## 令和5年 9月定例会



**問題意識** 地域経済を持続可能にしていくには、市独自の支援策について政策立案をしていく必要があるのではないか。

**(1) 熱中症予防のための労働環境支援について**  
**Q: 従業員の熱中症を予防する環境整備への支援が必要ではないか。**  
 A: (商工労働部長) 今回の議会で提案した補助事業の予算では、エアコンの新設などを対象としている。今後も、地域経済を活性化するため、市内中小企業者の労働環境の整備への支援を図っていく。  
 (農林水産部長) 市内すべての担い手に対して、労働環境整備のためのニーズ調査を実施する。その結果を踏まえ、対策を検討する。

**(2) 園芸資材の購入支援について**  
**Q: [提案] 遮光カーテンなど園芸資材の購入に対する支援が必要ではないか。**  
 A: (農林水産部長) 現在、園芸産地でアンケート調査を実施している。その結果を踏まえ、必要な支援を検討する。

**(3) 事業承継への支援について**  
**Q①: 集落営農組織など、農業の担い手の事業承継について、実態把握の状況と今後の取組について。**  
 A: ① (農林水産部長) 全ての担い手に対して、事業承継についてのアンケート調査を実施する。  
**Q②: [提案] 中小企業者の事業承継に対して、金融機関と定期的に情報交換するネットワークの設立や、アンケート調査を実施してはどうか。**

A: ② (商工労働部長) 県内の市町や商工会議所、金融機関等で構成する「福井県事業承継ネットワーク」に参加しているため、この枠組みでより一層の情報交換を図っていく。

**(4) 消費者教育の推進について**  
**Q: [提案] 価格だけではなく「環境に良い商品」や「地域の活性化につながる商品」などその価値や背景に目を向けてもらう消費者教育の取組をしていくべきでは?**  
 A: (教育部長) 市では消費者教育計画を策定していないが、県の計画や社会情勢を踏まえ、消費者を取り巻く諸問題に対する啓発に努めていく。

## 令和5年 9月予算特別委員会

**(1) 予算編成の査定過程の公開**  
**Q: 透明性の高い財政運営を行うためホームページを活用して、予算編成過程を公表している自治体が増えつつある。情報公開を進めるために、[提案] 当市も査定過程を公開すべきでは?**  
 A: (財政部長) 他の中核市などの状況を踏まえ、意思決定の中立性が損なわれる事が無いよう、また、市民に分かりやすい資料となるよう、情報公開の仕方について検討していく。

**(2) 弁護士職員の採用**  
**Q: 全国の自治体では、弁護士を任期付き職員として採用し、庁内に駐在してもらう動きが進んでいる。庁内の事情にある程度精通した[提案] 弁護士職員がいれば、顧問弁護士に相談する対応とは違い、より適切な対応が出来るのでは?**  
 A: (総務部長) 現在、3名の顧問弁護士への相談対応で何とか対応出来ている。職員弁護士がいれば、より迅速かつ適切に対応出来ると認識しているため、顧問弁護士では対応出来ないほどの相談事案が増えた段階で弁護士職員の採用について検討する。

## 令和5年 12月定例会



**(1) リサイクル率について**  
**Q: リサイクル率をあげるために、[提案] 公共施設に資源ごみの回収拠点を作ってはどうか? また、[提案] 大雪による財政再建計画をきっかけとして4円に減額した「古紙回収奨励金」の単価を、元の5円に戻してはどうか。**  
 A: (市民生活部長) 回収拠点の設置を検討していく。また、公共施設に資源ごみの回収拠点と「古紙回収奨励

金」の単価見直しについて、来年度予算で前向きに検討したい。

**(2) 特定健康診査および特定保険指導の実施率について**  
**Q: 他の中核市と比べて実施率が低い。どのような対応をしていくのか。**  
 A: (保健衛生部長) 電話による受診勧奨など、より効果的な呼びかけに努める。  
**特定健康診査** 生活習慣病を早期発見し、早期対策に結びつけるための健診  
**特定保健指導** 保健師、管理栄養士などの専門スタッフによる生活習慣を見直すサポート

**(3) 水道について**  
**Q: 他の中核市と比べて水道の管路などの耐震化率が低い。どのような対応をしていくのか。**  
 A: (上下水道事業部長) 「福井市水道事業ビジョン2020」に基づき、重要な施設や管路を優先的に整備し、耐震化率を高めていく。

**(4) 会計年度任用職員および外部委託について**  
**Q①: 本市の会計年度任用職員の方々には、窓口業務などの市役所内の業務の多くを担って頂いており、待遇に不公平感を感じることなく今後も住民の方々と日々接する仕事にやりがいと誇りをもって業務に当たって欲しい。現状と今後の方針は。**  
 A①: (総務部理事) 一般職の職員2,264人に対して、会計年度任用職員は1,330人(うち、フルタイムは968人)。今後は人事評価の活用により、モチベーションのアップを図っていく。

**Q②: 市役所内の専門性が失われることの無いよう、外部委託の運用をして欲しい。外部委託の現状と今後の運用は。**  
 A②: (総務部理事) 現在は外部委託を検討している業務や施設はないが、今後大きな効果が見込めるものについては、実施を検討する。

古紙回収地域団体奨励金単価見直し  
 福井市は14日、古紙回収を行う地域団体などに対する奨励金について、財政再建計画に伴い19年度以降1円当たり5円から4円に減額して単価を見直す方針を示した(2面に関連記事)。奨励金は、資源の有効活用や処理経費削減を図るため、PTAや婦人会などの団体が行う新聞紙や雑誌の回収に対して交付している。この日の市会では、奨励金は地域団体の活動資金にもなっているとして対応を定めた。

今回の提案により古紙回収奨励金単価の見直しを検討してもらえることに!

古紙回収地域団体も、奨励金の古紙回収量は18年度の313.6トンから、昨年度166.0トン、今年度は166.0トンと、ほぼ半減。燃料費高騰など各団体の回収経費も増えている。理事者は「リサイクルにつながる施策は重要。奨励金単価の見直しを前向きに検討したい」と述べた。市にも、奨励金制度を設けている市内市町のうち大野市と越前市は1円、当り6円、坂井市を9円、永平寺町を3円、福井市と永平寺町と美浜町は奨励金制度がない。(見解欄参照)

などの機会が減少した影響もあり、奨励金の古紙回収量は18年度の313.6トンから、昨年度166.0トン、今年度は166.0トンと、ほぼ半減。燃料費高騰など各団体の回収経費も増えている。理事者は「リサイクルにつながる施策は重要。奨励金単価の見直しを前向きに検討したい」と述べた。市にも、奨励金制度を設けている市内市町のうち大野市と越前市は1円、当り6円、坂井市を9円、永平寺町を3円、福井市と永平寺町と美浜町は奨励金制度がない。(見解欄参照)